

令和2年度事務事業評価(対象:令和元年度実施事業)集計表

R 元 年 度 の 事 後 評 価	①必要性	①必要性の評価		
		件数	割合(%)	
		A:非常に高い	262	70%
		B:高い	102	27%
		C:ある程度認められる	9	2%
		計	373	100%
	②目標達成度	②目標達成度の評価		
		件数	割合(%)	
		A:達成した(100%)	148	40%
		B:概ね達成した(80%以上)	181	49%
		C:達成できなかった(80%未満)	44	12%
		計	373	100%
	③実施内容・方法	③実施内容・方法の評価		
		件数	割合(%)	
		ア:余地が大きい	7	2%
		イ:ある程度余地がある	306	82%
		ウ:余地がない	60	16%
		計	373	100%
	④公平性 i.受益者が一部に偏っているか	④公平性の評価		
		件数	割合(%)	
偏りがある		49	13%	
やや偏りがある		97	26%	
偏りがない		104	28%	
非該当		123	33%	
	計	373	100%	
④公平性 ii.受益者負担の見直しの余地	④公平性の評価			
	件数	割合(%)		
	余地がある	70	28%	
	余地がない	41	16%	
	受益者負担がない	89	36%	
	非該当	50	20%	
	計	250	100%	

※④公平性「ii 受益者負担の見直しの余地」の率は、④公平性「i 受益者が一部に偏っているか」の「ア:偏りがある+イ:やや偏りがある+ウ:偏りがない」の合計を分母としている。

※割合は小数点以下を四捨五入しているため、各項目を足し合わせても100%にならない場合がある。

計画期間を通じての評価	課題	④公平性の評価		
		件数	割合(%)	
		一:課題はほとんどない	42	11%
		○:ある程度課題がある	289	77%
		●:大きな課題がある	42	11%
	計	373	100%	
	総合評価	総合評価		
		件数	割合(%)	
		☆☆☆:順調	163	44%
		☆☆:概ね順調	184	49%
☆:遅れ		24	6%	
対象外		2	1%	
計	373	100%		

今後の方向性	方向性	件数		割合(%)		
		現状のまま継続	274	73%		
		休止・廃止	0	0%		
		終了・完了	1	0%		
		見直して継続	95	25%		
		他事業と統合して継続	3	1%		
		見直し方針				
	重点化(拡充)	58	59%			
	手段を改善	32	33%			
	効率・簡素化	10	10%			
	その他	5	5%			
	計	373	100%			
	経営資源	事業費	増加	110	29%	
			現状維持	255	68%	
			削減	8	2%	
計			373	100%		
労働量		増加	109	29%		
		現状維持	262	70%		
		削減	2	1%		
計	373	100%				

※方向性の見直し方針の率は、「現状のまま継続」の一部+「見直して継続」+「他事業と統合して継続」の件数を分母としている。

※割合は小数点以下を四捨五入しているため、各項目を足し合わせても100%にならない場合がある。